講義科目 : 政治経済学 (53期生)	単位数 : 2
担当 : 深井 英喜	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

- マルクス派経済学およびポスト・ケインズ派経済学の経済理論の基礎を学び、経済学の考え方の基礎を習得することを目指します。
- また、関連する社会経済の話題やデータを時には紹介することで、理論経済学の考え方についての理解が深まることを目指します。

受講生の理解の程度に応じて、授業計画は変更することがあります。

授業計画

授業計画は、受講生の理解の状況に応じて、変更することがあります。

- 第1回 ガイダンス 資本主義社会の特徴と経済学の課題
- 第2回 商品と価値
- 第3回 貨幣の諸機能
- 第4回 価値と価格① (完全競争市場のメカニズム)
- 第5回 価値と価格② (生産価格の決定と市場の失敗)
- 第6回 資本主義的生産の仕組み
- 第7回 剰余価値発生メカニズム① (資本の一般的定式)
- 第8回 剰余価値発生メカニズム② (絶対的そして相対的剰余価値生産)
- 第9回 資本の蓄積と再生産① (単純再生産の条件)
- 第10回 資本の蓄積と再生産② (拡大再生産の条件)
- 第11回 資本の蓄積と雇用① (技術革新と資本蓄積)
- 第12回 資本の蓄積と雇用② (相対的過剰人口論)
- 第13回 生産様式と労働者の統合
- 第14回 金融市場の構造とメカニズム① (金融市場の構造と貨幣の定義)
- 第15回 金融市場の構造とメカニズム② (信用創造と内生的貨幣供給論)

教材・テキスト・参考文献等

- 講義資料を配布します。
- 参考文献
鍋島直樹『現代の政治経済学－マルクスとケインズの総合』ナカニシヤ出版
森田成也『マルクス経済学・再入門』同成社

成績評価方法

- 定期試験 (70点)、中間課題 (30点)、積極的受講 (10点) の110点満点で採点し、60点以上を合格とします。
- 出欠は評価基準にしません。積極的受講の評価方法については、初回のガイダンスで説明します。